

IoT 導入支援モデル事業(製品技術開発支援事業)

現状・課題

【現状】

○中小企業の景況は緩やかな改善傾向にあるが、新規開業の停滞、生産性の伸び悩みに加えて、経営者の高齢化や人材不足の深刻化といった構造的な課題が進行中。【中小企業白書より抜粋】

○中小製造業等が、IoTに期待する効果として「生産の効率化」「品質の向上」等が挙げられる。

○IoTサービスを提供する事業者(以下、IoTベンダー)で、すでに中小製造業等への導入実績がある企業がある。

【課題】

○中小製造業等においてIoTを導入するにあたり、自社のどの部分にどのようなIoTを導入すべきなのかがわからない。

○導入可能な価格でかつ効果的なIoTサービスがあるかどうかわからない。

○IoTベンダーで中小製造業等との接点を持つ企業が少ない。

事業の方向性

○IoT導入目的の明確化。「何のためにIoT導入が必要か」を整理する。

・中小製造業等の経営や生産体制等について分析し「課題」を整理することで、導入目的を明確化する。その上で、目的・課題に応じた「IoTソリューション」がどの程度の「価格」で導入可能かを提示し、IoTベンダーとのマッチングを進め、IoT機能の試験導入を実施する。

○支援対象・・・中小製造業等共通の課題解決に資するIoT化を支援(人材不足、生産ライン管理、在庫管理、温度管理等)。

○継続した啓発セミナーの開催

・中小製造業等へのIoT導入を促進するため、他の成功事例を踏まえた導入メリット等を幅広く周知するセミナーを開催する。

事業イメージ

○IoT導入支援モデル事業(拡充)

・中小製造業等へのIoT/ITの導入・活用を促すため、専門家(業者)によるIoT導入診断を行い、最適なIoTサービスを保有するIoTベンダーとのマッチングを実施。

・IoTベンダーのサービスを試験導入し、成果検証を実施。

【平成30年度予算要求額:業務委託料 5,000千円】

平成30年度	平成31～32年度	平成33年度以降
○IoT導入診断の実施 ○診断結果に基づき、最も適したIoTサービスを保有する事業者とのマッチングを実施 ○IoT事業者のサービスを試験導入し成果検証 ○中小製造業等におけるIoT導入促進のための啓発セミナーを実施。	○IoT導入支援事業の継続実施 (年2件程度を予定) ○導入事例を広く啓発し、他の中小製造業等へのIoT導入を促進する。	○IoT導入支援事業の進捗・成果検証を踏まえ、補助制度等への支援方法の切り替えを含めて検討する。

事業の効果

●中小製造業等がIoTの導入・活用を行うことにより期待される効果

(例)・生産性向上

・人手不足問題の改善

・データ蓄積による品質向上

・工場設備稼働率の平準化

・設備の異常の早期発見 等

経営基盤強化実現！